

平成28年度

決算認定に対する 5会計の討論



一般会計

小野 曜子 議員

反対

将来負担比率は前年より改善されたが60%と依然高い。町有施設建設費等が重い負担となっている。また不要不急の公共事業等の見直しを行えば保育士不足への対策、デマンド交通の改善、住民負担の軽減等は可能だったがそれらの対策が不足し、反対する。

反対 1

薄井 博光 議員

賛成

平成28年度の主な事業は、防災行政デジタル無線の設置、教育環境の充実、放課後児童クラブの建設、若者定住に対する支援、更には高齢者に対する交通網の確保と今、本町に必要な事業である。財政状況を把握し、歳出を抑えた一般会計であることから決算に賛成する。

賛成 14

国民健康保険特別会計

小野 曜子 議員

反対

滞納世帯は999世帯、18.9%にのぼり、国保税が高すぎて払いきれない現状を示してる。国保税は引き下げるべき。資格証明書や短期被保険者証の発行はそれぞれ129世帯、292世帯。ひとり親家庭や妊産婦に配慮する体制がなく、反対する。

反対 1

池澤 昇秋 議員

賛成

歳入の収納率は74.90%で、前年比2.1%増となっている。収入未済額は前年比で0.92%減となっており、歳出面では前年度比で費用が下回っており今後も歳入確保と歳出抑制に努め、「特定健康診査」や「がん検診」の受診率向上体制を願い、本決算に賛成する。

賛成 14